議案に対する質疑

各会派の代表者が市長の提出議案に対して、質疑しました。

政友会　後関　俊一

○議案第1号

問　条例制定の経緯を伺います。

答　平成18年4月1日施行の鎌ケ谷市犯罪のない安全で安心なまちづくりの推進に関する条例により、安全で安心なまちづくりに関する施策を総合的に推進してきました。同条例では、市民などの役割として、犯罪の被害者とならないよう、自らの安全確保に努めることを掲げていますが、犯罪被害者等基本法の前文にあるように、近年様々な犯罪などが後を絶たず、誰もがある日突然犯罪などに巻き込まれ、被害に遭う可能性があります。犯罪の被害者等は十分な支援が受けられず、社会で孤立するなど、犯罪による直接的な被害にとどまらず、周囲の無理解や配慮を欠く対応による間接的な被害に苦しめられることも少なくないことから犯罪被害者等が受けた被害の早期の回復及び軽減を図り、もって安全で安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与するため、犯罪被害者等支援を目的とした条例の制定に至りました。

○議案第7号

問　条例改正の概要を伺います。

答　家庭的保育事業等において、児童の安全を確保するための取組を計画的に実施するための安全計画を策定し、施設設備の安全点検や、児童、保護者への安全指導、実践的な訓練や研修の実施、送迎バス等の運行には、乗降車の際に児童の所在確認を行うことに加えて、当該車両には車内にいる児童の見落としを防止するブザーなどの装置を設置することのほか、懲戒権にかかる規定の削除等を行うものです。

公明党　鈴木　哲也

○議案第4号

問　現物給付化に伴う高校生等の保護者への周知方法を伺います。

答　市ホームページや市広報で周知するほか、制度の内容を丁寧に説明する必要があることから、個別案内の送付を予定しています。個別案内については、平成17年4月2日から平成20年4月1日生まれの高校生等の保護者に対し、制度概要のチラシと子ども医療費助成登録申請書等を送付する予定です。

登録申請書の提出後は助成区分の審査等を行い、令和5年7月末に受給券を発送し、8月1日から現物給付化制度の開始を予定しています。なお、医療機関等関係機関に対しても窓口対応の変更があるため、丁寧な説明を実施していきます。

立憲民主党　河内　一朗

○議案第5号

問　放課後児童クラブの安全確保に関する取組を定めた安全計画を策定し、当該計画に従って必要な措置を講ずるとありますが、計画の内容を伺います。

答　安全確保に関する取組を計画的に実施するために、年度が始まる前に施設設備の安全点検や災害マニュアル等の策定、児童などに対する安全指導、避難訓練などの取組事項について、実施回数や年間スケジュールなどを具体的に定めています。

○議案第8号

問　ふるさと基金積立に要する経費について、（仮称）ゼロカーボンシティの宣言関係経費の具体的な内容を伺います。

答　令和5年度予算案にゼロカーボンシティ宣言普及啓発業務委託として182万6千円を計上し、2050年、二酸化炭素排出実質ゼロを目指すゼロカーボンシティ宣言に向けた準備を進めているところです。内容は、宣言までの事務手続等に対する各種支援業務や宣言後の普及啓発業務となります。

普及啓発業務の具体的な内容は、ゼロカーボンについての理念や行動指針を分かりやすくまとめた（仮称）ゼロカーボンメニューの内容を含んだ啓発チラシ及びポスターの作成や庁内来客用デジタルサイネージなどで配信するための啓発動画の編集などの作成支援となります。宣言後はこうした媒体を活用し、市民、事業者に向けた普及啓発を行い、行政も一体となって地球温暖化対策に取り組めるように進めていきます。

日本共産党　佐竹　知之

○議案第2号

問　現在の医療機関での出産費用と出産育児一時金の引上げ分の財源を伺います。

答　厚生労働省によると、令和4年度の私的病院も含めた全施設の平均出産費用は、約49万2千円と算出されています。財源については、引上げ分の8万円を含め、出産育児一時金は、その3分の2は地方交付税で措置され、3分の1は市の負担となります。

なお、今回の引上げ分で市が負担する約2万6千円は大幅な引上げとなるため、令和5年度に限り、1件当たり5千円の国庫補助が実施されることとなっています。また、令和6年度以降は、少子化を克服し、子育てを社会全体で支援する観点から、後期高齢者医療制度において、出産育児一時金に係る費用の一部を支援する仕組みが導入されることとなっています。

予算審査特別委員会

令和5年度鎌ケ谷市一般会計、3特別会計及び1事業会計予算について審査を行いました。

一般会計についての主な審査内容は次のとおりです。

〈総括〉

問　市長就任後、2度目の予算編成となりましたが思いを伺います。

答　市民の声をすべて施策に反映させることには限界がありますが、市民生活優先という基本的な考えのもと可能な限り予算化することに努め、持続可能な行財政運営を前提として優先度を判断しました。

問　予算編成の具体的な方針について伺います。

答　基本的な考え方として総合基本計画に定める目指す姿の実現、市長公約の着実な遂行、持続可能な行財政運営の推進の3点を掲げました。

予算要求を取りまとめる前に指示した新規拡充事業も予算計上しています。

〈歳入〉

問　市税の動向について伺います。

答　法人の経営不振やコロナ関連の特例による軽減措置などの影響は回復傾向にあり、令和5年度はコロナ禍前の予算以上に回復する見込みです。

〈歳出〉

問　ファミリー・サポート・センター事業の新たな取組について伺います。

答　産後の育児支援のため、預かり可能な月齢について、現行のおおむね生後6か月以上を生後3か月以上に引き下げ、安全に預かれるよう乳児の預かりに特化した研修会も開催します。

問　コミュニティバス運行助成事業について、運転免許証返納者と障がい者の介助者に対する支援について伺います。

答　市が発行する運転免許証自主返納割引証の交付を受け利用時に提示することで、運賃が半額の50円となります。

また、障害者手帳を所持する方が利用する際に、申告により介助者1名までの運賃が半額の50円となります。

コミュニティバス

問　義務教育施設維持補修事業で小学校体育館空調設備設置の実施設計を行うとのことですが、課題となっていた躯体への影響はどのように解決される予定なのか伺います。

答　室内機の台数を増やすことにより躯体を補強せずに設置している実例もあることから、実施設計の中で補強の有無についても確認していきます。

予算審査特別委員会委員

委員長	大野幸一
副委員長	小易和彦
委員	後関俊一
委員	宗川洋一
委員	松原美子
委員	矢崎悟
委員	中村潤一
委員	森谷宏
委員	河内一朗

令和5年3月会議の審議結果一覧

議案番号等	件名	審議結果	
議案第1号	鎌ケ谷市犯罪被害者等支援条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第2号	鎌ケ谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第3号	鎌ケ谷市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第4号	鎌ケ谷市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第5号	鎌ケ谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第6号	鎌ケ谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第7号	鎌ケ谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第8号	令和4年度鎌ケ谷市一般会計補正予算（第9号）	原案可決	全会一致
議案第9号	令和5年度鎌ケ谷市一般会計予算	原案可決	全会一致
議案第10号	令和5年度鎌ケ谷市国民健康保険特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第11号	令和5年度鎌ケ谷市介護保険特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第12号	令和5年度鎌ケ谷市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第13号	令和5年度鎌ケ谷市下水道事業会計予算	原案可決	全会一致
議案第14号	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第15号	令和4年度鎌ケ谷市一般会計補正予算（第10号）	原案可決	全会一致
同意案第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同　意	全会一致
同意案第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同　意	全会一致
同意案第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同　意	全会一致
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適　任	全会一致
発議案第1号	鎌ケ谷市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	原案可決	全会一致
陳情5-3-1	アーチェリー場の再開に係る陳情	採　択	全会一致
陳情5-3-2	庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情	不採択	賛成なし

※審議の詳細な内容については、6月上旬に市議会ホームページに掲載される会議録をご覧ください。

（お知らせ）次の議会だよりは、8月15日（火）発行予定です。